



平成25年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年7月31日

上場会社名 日清食品ホールディングス株式会社
 コード番号 2897 URL <http://www.nissinfoods-holdings.co.jp/>

上場取引所 東大

代表者 (役職名) 代表取締役社長・CEO (氏名) 安藤 宏基

問合せ先責任者 (役職名) 取締役・CFO (氏名) 横山 之雄

TEL 03-3205-5111

四半期報告書提出予定日 平成24年8月9日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、証券アナリスト向け電話会議)

(百万円未満切捨て)

1. 平成25年3月期第1四半期の連結業績(平成24年4月1日～平成24年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
25年3月期第1四半期	89,648	△1.6	4,579	△53.4	5,982	△44.5	2,803	△70.3
24年3月期第1四半期	91,104	2.2	9,832	0.2	10,787	△2.3	9,440	31.7

(注)包括利益 25年3月期第1四半期 8,486百万円 (△30.8%) 24年3月期第1四半期 12,270百万円 (157.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
25年3月期第1四半期	25.44	25.37
24年3月期第1四半期	85.31	85.15

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
25年3月期第1四半期	409,878	291,566	69.5
24年3月期	414,717	286,657	67.6

(参考)自己資本 25年3月期第1四半期 284,912百万円 24年3月期 280,423百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
24年3月期	—	40.00	—	35.00	75.00
25年3月期	—	—	—	—	—
25年3月期(予想)	—	40.00	—	35.00	75.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成25年3月期の連結業績予想(平成24年4月1日～平成25年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	190,000	5.5	9,500	△21.1	10,500	△20.5	7,000	△34.1	63.53
通期	400,000	5.1	27,000	3.0	30,000	6.8	19,000	2.5	172.43

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、【添付資料】P. 3(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有

② ①以外の会計方針の変更 : 無

③ 会計上の見積りの変更 : 無

④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、【添付資料】P. 3(会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示)をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

25年3月期1Q	117,463,685 株	24年3月期	117,463,685 株
----------	---------------	--------	---------------

② 期末自己株式数

25年3月期1Q	7,271,103 株	24年3月期	7,291,193 株
----------	-------------	--------	-------------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

25年3月期1Q	110,180,718 株	24年3月期1Q	110,669,289 株
----------	---------------	----------	---------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は完了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、【添付資料】P. 3(連結業績予想に関する定性的情報)をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	3
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 継続企業の前提に関する注記	8
(4) セグメント情報等	8
(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間の我が国経済は、欧州債務問題の再燃や円高及び米国・中国経済の減速に伴う輸出の伸び悩みが、景気回復の足かせとなったものの、震災復興需要に支えられ、個人消費も堅調に推移し、景気は緩やかに改善の兆しが見えてきました。

一方、当社グループの中核事業である即席めん業界においては、昨年の震災による一時的な需要増の反動もあり、カップめんは落ち込んだものの、即席袋めんは、簡便性、保存性、価格、おいしさなどの再評価も進み、需要が拡大しております。しかし、消費者の節約志向に対応した価格競争もあり、厳しい経営環境が続いております。

このような状況の下、国内では、新技術を活かした商品を提供すると共に既存ブランドの維持強化を図っております。また、海外においては、積極的に生産・販売の拡充・強化を推進しております。

この結果、当第1四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比1.6%減の896億48百万円となりました。利益面においては、営業利益は、販売促進費等が増加したこともあり、前年同期比53.4%減の45億79百万円、経常利益は、前年同期比44.5%減の59億82百万円となりました。また当四半期純利益は、前年同期比70.3%減の28億3百万円となりました。

<連結業績>

(単位：百万円)

区分	平成24年3月期	平成25年3月期	対前年同期比	
	自平成23年4月1日 至平成23年6月30日	自平成24年4月1日 至平成24年6月30日	金額	%
売上高	91,104	89,648	△1,456	△1.6
営業利益	9,832	4,579	△5,252	△53.4
経常利益	10,787	5,982	△4,805	△44.5
四半期純利益	9,440	2,803	△6,637	△70.3

報告セグメント別の業績の概況は、以下の通りです。

①日清食品

当第1四半期の販売状況は、袋めん類はカップめんて培った技術を応用し「日清のどん兵衛」を発売、好調な販売となりました。カップめん類は「カップヌードルライト」シリーズに新たにチリトマト味をラインナップに加え、氷を入れて冷やして食べるという新しい食べ方を提案しました。また、「カップヌードルごはんカレー」を発売した「カップヌードルごはん」シリーズなどが売上を伸ばしました。しかし、前年同期が東日本大震災直後の特別なマーケットに対応した時期であったため、トータルの売上高は前年同期を下回りました。

この結果、報告セグメントにおける日清食品の売上高は、前年同期比1.9%減の439億61百万円となりました。セグメント利益は、前年同期比41.7%減の41億32百万円となりました。

②明星食品

当第1四半期の販売状況は、カップめん類は「明星チャルメラカップ」やオープン価格商品の「評判屋」が好調な売れ行きとなりました。また、「明星 一平ちゃん夜店の焼そば」や『ワンピース』とのコラボレーション商品が堅調に推移しました。反面、袋めん類は既存主力商品を中心に売上減となり、結果、全体として売上減となりました。

この結果、報告セグメントにおける明星食品の売上高は、前年同期比3.4%減の101億50百万円となり、セグメント利益は、前年同期比58.3%減の5億31百万円となりました。

③低温事業

当第1四半期の低温事業について、日清食品チルド粥の販売状況は、冷たいスープで味わう新提案商品「冷たいラーメンはじめました。」や、中華街『横浜大飯店』監修の「冷しジャージャー麺」「冷し坦々麺」などが堅調に推移しました。

日清食品冷凍粥の販売状況は、前期に引き続き、「冷凍 日清スパ王プレミアム」シリーズや、「冷凍 日清スパ王シェフズプレミアム」シリーズ、「もちっと生パスタ」シリーズなどスパゲティ商品が好調な販売となり、売上増となりました。しかし、セグメント全体としては、他商品の落ち込みをカバーするには至らず、売上減となりました。

この結果、報告セグメントにおける低温事業の売上高は、前年同期比2.2%減の129億47百万円となり、セグメント利益は、前年同期比85.9%減の88百万円となりました。

④米州地域

米州地域の販売状況は、米国において「Top Ramen」「CHOW MEIN」が堅調に推移、「Big Cup Noodles」も好調な販売となり売上増に貢献しましたが、為替の影響もあり、前年同期比微増となりました。

この結果、報告セグメントにおける米州地域の売上高は、前年同期比0.2%増の63億50百万円となり、セグメント利益は、前年同期比54.5%減の61百万円となりました。

⑤中国地域

中国地域の販売状況は、「合味道」「開杯楽」などのカップめん類や「出前一丁」が好調な販売となり、売上増に貢献、増収となりました。

この結果、報告セグメントにおける中国地域の売上高は、前年同期比4.6%増の51億32百万円となり、セグメント利益は、前年同期比155.2%増の6億81百万円となりました。

また、報告セグメントに含まれない事業セグメントについて、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業並びに欧州地域、アジア地域を含んだ「その他」の売上高は前年同期比1.6%減の111億6百万円となり、セグメント利益は、前年同期比82.7%減の1億75百万円となりました。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

資産、負債、純資産の状況

当第1四半期連結会計期間末の財政状態は次のとおりです。

(資産の部)

資産は、前連結会計年度末に比べ48億38百万円減少し、4,098億78百万円となりました。これは主に売上債権等の減少により流動資産が55億3百万円減少したことによるものです。

(負債の部)

負債は、前連結会計年度末に比べ97億48百万円減少し、1,183億11百万円となりました。これは主に未払法人税等及び仕入債務等の減少により流動負債が85億30百万円減少したことによるものです。

(純資産の部)

純資産は、前連結会計年度末に比べ49億9百万円増加し、2,915億66百万円となりました。これは主に為替換算調整勘定の増加によるものです。

この結果、自己資本比率は69.5%となりました。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

当第1四半期の連結業績は、概ね予想通りに推移しており、平成25年3月期の連結業績予想につきましては、平成24年4月27日に発表しました第2四半期連結累計期間及び通期の業績予想から変更は行っておりません。

なお、今後、業績に関して修正の必要が生じた場合には、速やかに開示いたします。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第1四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

なお、法人税等調整額は、法人税等を含めて表示しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

減価償却方法の変更

当社及び国内連結子会社は、法人税法の改正に伴い、当第1四半期連結会計期間より、平成24年4月1日以後に取得した有形固定資産について、改正後の法人税法に基づく減価償却方法に変更しております。

なお、この変更による当第1四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	67,599	63,203
受取手形及び売掛金	46,490	41,263
有価証券	10,836	13,895
商品及び製品	9,652	9,919
原材料及び貯蔵品	7,854	8,237
その他	9,642	10,042
貸倒引当金	△261	△249
流動資産合計	151,815	146,311
固定資産		
有形固定資産		
土地	47,999	48,143
その他（純額）	78,360	77,938
有形固定資産合計	126,360	126,082
無形固定資産		
のれん	2,648	2,461
その他	1,290	1,324
無形固定資産合計	3,939	3,785
投資その他の資産		
投資有価証券	117,635	117,822
その他	15,305	16,216
貸倒引当金	△338	△338
投資その他の資産合計	132,602	133,700
固定資産合計	262,902	263,567
資産合計	414,717	409,878
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	44,876	42,308
短期借入金	1,780	1,761
未払金	20,136	18,328
未払法人税等	6,813	2,211
その他	17,257	17,724
流動負債合計	90,865	82,335
固定負債		
長期借入金	12,860	12,496
退職給付引当金	9,450	9,033
その他	14,883	14,446
固定負債合計	37,194	35,976
負債合計	128,060	118,311

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成24年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成24年6月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	25,122	25,122
資本剰余金	48,416	48,416
利益剰余金	247,138	246,076
自己株式	△21,855	△21,795
株主資本合計	298,821	297,820
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	4,385	3,356
土地再評価差額金	△7,275	△7,275
為替換算調整勘定	△15,509	△8,988
その他の包括利益累計額合計	△18,398	△12,907
新株予約権	658	899
少数株主持分	5,575	5,754
純資産合計	286,657	291,566
負債純資産合計	414,717	409,878

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日)
売上高	91,104	89,648
売上原価	49,995	50,611
売上総利益	41,109	39,036
販売費及び一般管理費	31,277	34,457
営業利益	9,832	4,579
営業外収益		
受取利息	125	170
受取配当金	834	869
持分法による投資利益	—	97
為替差益	60	205
その他	104	168
営業外収益合計	1,124	1,510
営業外費用		
支払利息	65	63
持分法による投資損失	44	—
その他	58	43
営業外費用合計	168	107
経常利益	10,787	5,982
特別利益		
固定資産売却益	153	7
投資有価証券売却益	—	7
厚生年金基金代行返上益	5,410	—
その他	0	—
特別利益合計	5,563	14
特別損失		
固定資産売却損	1	32
固定資産廃棄損	28	55
投資有価証券評価損	1	539
特別損失合計	31	627
税金等調整前四半期純利益	16,320	5,369
法人税等	6,759	2,493
少数株主損益調整前四半期純利益	9,561	2,876
少数株主利益	120	72
四半期純利益	9,440	2,803

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	9,561	2,876
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△405	△1,057
為替換算調整勘定	843	2,021
持分法適用会社に対する持分相当額	2,271	4,646
その他の包括利益合計	2,709	5,610
四半期包括利益	12,270	8,486
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	12,115	8,294
少数株主に係る四半期包括利益	155	191

(3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(4) セグメント情報等

前第1四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日）

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	44,830	10,507	13,235	6,335	4,908	79,818	11,286	91,104	—	91,104
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	217	275	143	—	16	654	4,084	4,738	△4,738	—
計	45,048	10,783	13,379	6,335	4,925	80,472	15,370	95,843	△4,738	91,104
セグメント利益	7,084	1,274	629	136	266	9,390	1,012	10,403	△571	9,832

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△571百万円には、退職給付関係費用395百万円、のれんの償却額△187百万円、セグメント間取引消去等△41百万円、グループ関連費用△737百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第1四半期連結累計期間（自 平成24年4月1日 至 平成24年6月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	日清食品	明星食品	低温事業	米州地域	中国地域	計				
売上高										
外部顧客への 売上高	43,961	10,150	12,947	6,350	5,132	78,542	11,106	89,648	—	89,648
セグメント間の 内部売上高 又は振替高	49	219	128	—	29	427	3,972	4,399	△4,399	—
計	44,010	10,370	13,076	6,350	5,162	78,969	15,078	94,048	△4,399	89,648
セグメント利益	4,132	531	88	61	681	5,495	175	5,670	△1,091	4,579

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、国内の菓子事業、飲料事業、外食事業等並びに欧州地域、アジア地域を含んでおります。

2. セグメント利益の調整額△1,091百万円には、退職給付関係費用△184百万円、のれんの償却額△187百万円、セグメント間取引消去等42百万円、グループ関連費用△761百万円が含まれております。

3. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間から社内の業績管理区分を一部変更し、従来日清食品セグメントにて負担していたグループ関連費用を調整額に配分しております。

この変更により、従来の方法によった場合に比べ、「日清食品」のセグメント利益が761百万円増加し、「調整額」のセグメント利益が761百万円減少しております。

なお、前第1四半期連結累計期間については、当年度のセグメント利益の測定方法に基づき遡及して作成した数値となっております。

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。